

総選挙に向けた我が党の考え方と現状について(ご報告)

平成29年9月28日
民進党 豊中支部長
前 豊中市議会議員
白岩 正三

日頃の皆様方のご支援とご協力に心より感謝を申し上げます。

さて、すでに報道の通り、次期総選挙に際し、民進党は「希望の党」として闘うことになりました。期待、不安、困惑。昨日来、多くの皆様からメッセージを頂戴しております。日頃ご支援をいただいている皆様には、この間、十分な説明もできないままこのような事態になっておりますことを大変心苦しく思っております。あらゆるネットワークを駆使して情報を収集しておりますが、まだまだ不確定要素も多く、お伝えできる範囲が限られますが、今後ともできる限り共有させていただきたく存じます。

別添資料にあります通り、今回の総選挙に向けた民進党の公認内定はすべて取り消されました。従って、各候補予定者の選択肢は希望の党での公認をめざすか、無所属で闘うかということになります。ただし、公認申請をした全員が公認を受けることができるのかは明確になっておりません。また、公認に際し希望の党よりどのような条件が提示されるのかも不明です。

次に各党との選挙協力や候補者調整であります。大阪においては公党間における具体的な決定事項はありませんので「何かを解消する」ということは事実上ありません。一方で一部の皆さんにご期待いただいていた市民レベルでの共闘に向けた取り組み・連携については現時点では凍結されることになるでしょう。また、一部報道にあります。希望の党と日本維新の会との候補者調整については現在様々な協議があるようですが、決定事項はありません。

以上のように、予断を許さない状況下ではありますが、民進党大阪府第8区総支部(豊中市)におきましては、従前通り松井博史総支部長の出馬に向けて粛々と準備を進めているところです。尚、今後については党本部の動向も見極めながら、その対応を急ぎ協議していく予定ですので、決定次第ご報告申し上げます。

尚、多くの皆様からお問い合わせをいただいておりますが、私自身の今回の総選挙への出馬予定はありません。また、私も含めて地方議員や党役員、党員につきましては当面「民進党籍」のままです。衆院選が終わった後に、順次希望の党へと組織再編していく旨の方針は示されておりますが、私自身の対応については現時点では白紙です。引き続きご指導とご支援を賜りますようお願いを申し上げ、現状の報告とさせていただきます。

2017年9月28日

総選挙の対応について

民進党常任幹事会

- 一、今回の総選挙における民進党の公認内定は取り消す。
- 二、民進党の立候補予定者は「希望の党」に公認を申請することとし、「希望の党」との交渉及び当分の間の党務については代表に一任する。
- 三、民進党は今回の総選挙に候補者を擁立せず、「希望の党」を全力で支援する。

以上